

生徒からの主な意見

- (1) 東海市のイメージについて（制服のデザインに反映させます）
 - ・工場が多く鉄のまち、姉妹都市との交流が盛ん。
 - ・幼いころから親しみのある公園が多く、緑のイメージがある。
 - ・「さつき」が昭和45年（1970年）に市の花に制定された。
 - ・大仏が観光の名所になっている、見守られている。
 - ・平洲先生について、幼いころから学んできている。
 - ・給食にトマトメニューがある
- (2) 各中学校の独自性（違い）を出すためのアイテムについて
 - ・制服のデザインは市内6中学校が同じもの（東海市としてまとまりがでるため）で、胸に付けるエンブレムで各中学校の違いを出したい。
 - ・エンブレムを自分たちでデザインすることで、愛着が湧き、自分たちの学校だと認識できる。
 - ・各中学校の校章を襟もとに付けたい。
 - ・現在も校章を学生服・セーラー服に付けているが、ピンで固定するため、よく外れてなくなってしまう。
 - ・校章だと知らない人もいる。堅苦しくなるのでエンブレムのほうがよい。
 - ・ボタンは市内6中学校統一でよい。
- (3) 新制服選定方法について
 - ・代表生徒だけで決めるのではなく、多くの児童生徒の意見が反映できるような方法で、制服のデザインを決めたい。
 - ・他市町でも行っている、総選挙による投票で決めたい。
 - ・昨年度アンケートを行ったときは小学生だったが、実物を見てなかったのが答えづらかった。新制服の候補を見たり触ったりした上で、投票できるようにしてほしい。

マスターメーカーとの協議

- ・昨年度行ったアンケートの意見や検討委員会での生徒や委員の意見を反映させて、サンプル制服を3点作成する。
- ・3点のサンプル制服の中から、児童生徒の投票による総選挙を行い、新制服

のデザインを決定する。その際は、市内18小中学校にサンプル制服を展示し、児童生徒に見て触れる機会を設ける。

- 中学校ごとにエンブレムとボタンで独自性を出し、エンブレムは児童生徒からデザインを募集する。
- ボタンは、市内6中学校統一とし、デザイン選定は制服総選挙の時に同時に行う。